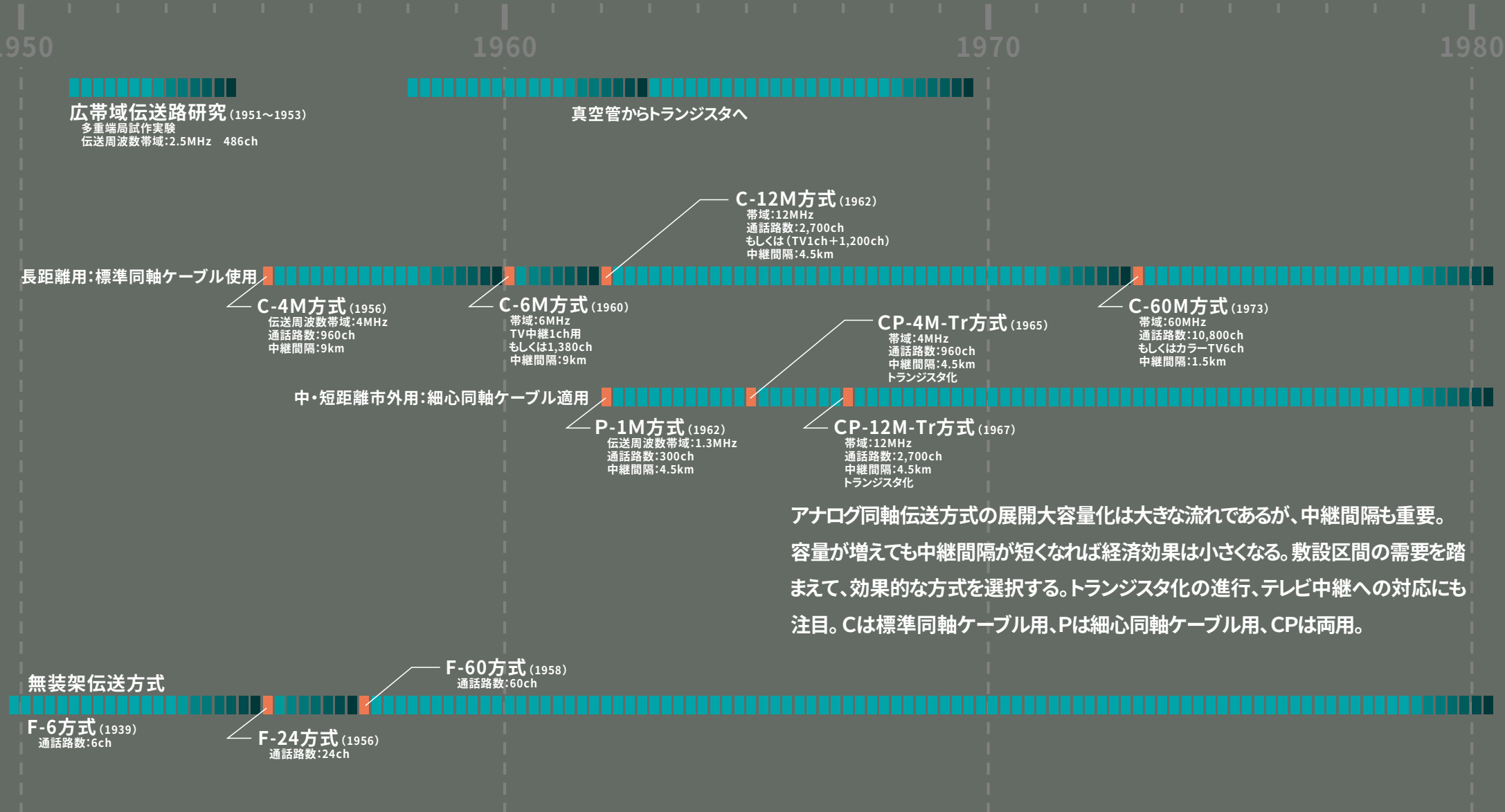


アナログ同軸伝送方式の進歩

Progress of analog transmission technologies



アナログ同軸伝送方式の展開大容量化は大きな流れであるが、中継間隔も重要。容量が増えても中継間隔が短くなれば経済効果は小さくなる。敷設区間の需要を踏まえて、効果的な方式を選択する。トランジスタ化の進行、テレビ中継への対応にも注目。Cは標準同軸ケーブル用、Pは細心同軸ケーブル用、CPは両用。